



第 2 回	生命倫理の歴史 アメリカにおけるバイオエシックスの展開と、日本における生命倫理の展開について解説する。
第 3 回	「いのち」の始まりはだれが決めるのか 1 人工妊娠中絶をめぐる母親と胎児の立場の対立について解説する。
第 4 回	「いのち」の始まりはだれが決めるのか 2 人工妊娠中絶をめぐる母親と胎児の立場の対立について考え、人の「いのち」はいつ始まるのかについて考える。
第 5 回	生殖補助技術は人を幸せにするのか 1 妊娠を助ける生殖補助技術をめぐる状況について解説する。
第 6 回	生殖補助技術は人を幸せにするのか 2 妊娠を助ける生殖補助技術をめぐる状況について考え、代理出産などの親子関係への影響について考える。
第 7 回	「いのち」の質はだれが決めるのか 1 出生前診断やデザイナーズ・ベビーをめぐる状況について解説する。
第 8 回	「いのち」の質はだれが決めるのか 2 出生前診断やデザイナーズ・ベビーをめぐる状況について考え、優生思想や社会における障害観について考える。
第 9 回	子どもの「いのち」はだれが決めるのか 1 侵襲性の高い医療技術の利用や子どもの臓器提供をめぐる状況について解説する。
第 10 回	子どもの「いのち」はだれが決めるのか 2 侵襲性の高い医療技術の利用や子どもの臓器提供をめぐる状況について考え、親の責任と子どもの権利の葛藤について考える。
第 11 回	「脳死」は人の死か 1 日本の脳死・臓器移植議論と臓器移植法をめぐる状況について解説する。
第 12 回	「脳死」は人の死か 2 日本の脳死・臓器移植議論と臓器移植法をめぐる状況について考え、「脳死」＝人の死なのかについて考える。
第 13 回	「いのち」の終わりはだれが決めるのか 1 安楽死と尊厳死をめぐる状況について解説する。
第 14 回	「いのち」の終わりはだれが決めるのか 2 安楽死と尊厳死をめぐる状況について考え、生命の質（QOL）とは何かについて考える。
第 15 回	死に際して望むことは 自分がどのような死を迎えたいかを考えることを通して、生きがいや、自身にとってのよりよい生について考える。
テキスト	レジュメを配布し、参考図書等は適宜紹介します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	香川知晶（2009）『命は誰のものか』ディスカヴァー携書 小林亜津子（2011）『はじめて学ぶ生命倫理―「いのち」はだれが決めるのか』ちくまプリマー新書 庄司進一編著（2003）『生・老・病・死を考える 15 章 実践・臨床人間学入門』朝日選書 玉井真理子・大谷いづみ編著（2011）『はじめて出会う生命倫理』有斐閣

	教材として、必要に応じて視聴覚教材を用います。
課題に対するフィードバックの方法	各回のコメントに記入された質問や感想の内容については、講義内で解説し、フィードバックを行います。
学生へのメッセージ・コメント	<p>生や死といった「いのち」をめぐる生じている現代的課題への関心を広くもち、講義で提示されるテーマについて、自分自身で考えを深め、積極的に意見を述べる姿勢を持って参加してください。</p> <p>生命倫理に関連する報道に目を向け、最新の倫理的課題について関心をもつようにしてください。また生命倫理に関連するドキュメンタリーや映画などにも多く触れてみてください。</p>

